

ZANDEN Model 120 の活用(9)
—Model 120 設定条件の試聴(9)—

1. 始めに

前報(8)に引き続き、アナログ盤を選定して Model 120 の設定条件を替えて試聴していきます。今回は、ARCHIV 盤を選定しました。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の導入(2)と同様、下記のとおりとします。

LP-12→(フォノケーブル)→AACU-1000→Model120(アンバランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス/バランス変換ケーブル)→P&G フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子)→BACU-2000→300B シングルアンプ(バランス入力端子)

なお、クロスチェックの意味で、カートリッジは、ZYX R100-EX とし、接続に関しては、Garrad401 の再構成(10)と同様、下記も使用します。

Garrad401→(フォノケーブル)→Stage1030(アンバランス入力端子→アンバランス出力端子)→AACU-1000→(RCA ケーブル)→Brooklyn DAC+(アンバランス入力端子→バランス出力端子)→BACU-2000→(バランスケーブル)→P&フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子)→BACU-2000→(バランスケーブル)→300B シングルアンプ

音源としては、下記の ARCHIV 盤を選んで聴いていきます。

ARCHIV 2533 146(Hannover)

クラウディオ・モンテヴェルディ：アリアンナの嘆き
ユルゲン・ユルゲンス指揮ハンプブルグモンテヴェルディ合唱団
*2枚あり

ARCHIV MA5140(日本ポリドール)

アントワーヌ・ビュノワ：ミサ (ロム・アルメ)
ジル・バンショワ：モテット
ブルーノ・ターナー指揮プロ・カンティオーネ・アンティクワ

ARCHIV MAF 8051-3(日本ポリドール)

ゴシック時代の音楽
デヴィッド・モンロウ指揮ロンドン古楽コンソート

ARCHIV MA 5071(日本ポリドール)

クリストバル・デ・モラレス：マニフィカト・モテット
ブルーノ・ターナー指揮ロンドン古楽コンソート
ARCHIV 28MA 0045(Hamburg/Polydol International)
ゲオルグ・フリードリッヒ・ヘンデル：シャコンヌ
トレヴァー・ピノック(チェンバロ)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

試聴は、RIAA の正相からスタートして、種々切り替えて聴いていき、良さそうなところで、第 4 時定数も決めていきます。

ARCHIV 2533 146(Hannover)のアリアナの嘆きは 2 枚あり、1 枚目は装丁に IC0113 というマークがあつて、日本語の解説はなく、2 枚目は装丁に IC0113 というマークがなく、日本語の解説が付属しています。

1 枚目の方は、RIAA の正相では、合唱が散漫になりますので、逆相にし、TEKDEC にしますと合唱の声の焦点があつてきます。EMI では少し騒がしくなりますので TEKDEC に戻し、第 4 時定数を High から Mid にしますと合唱の協和の響き具合がよくなります。2 枚目の方は、これも同じ条件で良さそうですが、こちらの方が明晰で、バックのチェンバロやリュートらしい小音量の楽器の音が聴き取りやすくなります。

ARCHIV MA5140(日本ポリドール)のミサ(ロム・アルメ)とモテットは、同様に TEKDEC、逆相、第 4 時定数を Mid で、複雑に絡み合う和声の表現が実現されます。ARCHIV MAF 8051-3(日本ポリドール)のゴシック時代の音楽は、2 重唱、3 重唱にいくつかの古楽器が伴奏を伴いますが、TEKDEC、逆相、第 4 時定数を High で、非常に明晰な音楽が聴けます。RIAA では、声や楽器の質感が後退しますし、正相では明晰さが失われ、第 4 時定数を Mid にしますと、響きがくどくなります。Garrad401 の ZYX R100-EX でも聴いてみましたが、Brooklyn DAC+で位相反転をした方の定位がよくなります。

ARCHIV MA 5071(日本ポリドール)のマニフィカト・モテットは、TEKDEC、逆相、第 4 時定数を High で、非常に明晰でよく協和する音楽が聴き取れます。間接音が豊かに響きますので、第 4 時定数を Mid にする必要はありません。

ARCHIV 28MA 0045(Hamburg/Polydol International)のシャコンヌは、これのみが器楽曲で、1982 年のデジタル録音です。正体が掴めず、いろいろ探ってみましたが、TELDEC の逆相では、チェンバロの表情が過多になりますので、抑制する意味で RIAA の正相としました。第 4 時定数は High で良さそうです。

4. まとめ。

今回、聴いた盤は、シャコンヌ以外は、すべて TELDEC、逆相で良く、第 4 時定数は

間接音の響き具合に応じて調整すればよいと思われます。シャコンヌはチェンバロが派手にならない RIAA の正相にしました。

以上